臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会および病院長の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

子心ではて、	
研究課題名	破裂脳動脈瘤に続発するテルソン症候群に関する後ろ向きコホート研究
目的及び方法 研究対象者	脳の血管にできたこぶ(脳動脈瘤)が破れると、くも膜下出血という病気になります。 くも膜下出血により、脳の圧が急に高くなった時に、目の中にも出血が起こる事があり、 それを「テルソン症候群」と呼びます。ただ、この目の出血がどれくらいの人に起こるのか、またどうやってみつけるのかについては、まだはっきりとしたことがわかっていません。 本研究では、2019年1月1日から2025年7月31日の間に中東遠総合医療センターにて脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血と診断され、眼科的検査でテルソン症候群あるいは、テルソン症候群の疑いを指摘された患者様の診療情報から下記の情報を収集、解析を行い、当院の現状と問題点などを明らかにし今後の治療へ活かしたいと考えております。
利用する情報の項目と取得の方法	下記の情報を対象患者さまの診療録より収集し利用します。
研究実施期間	実施期間:研究機関の長による実施許可日~2026年3月まで 対象期間:2019年1月~2025年7月
研究機関の名称及	研究機関名:中東遠総合医療センター
びその長の氏名	機関の長:院長 宮地正彦
研究責任者	中東遠総合医療センター 脳神経外科 林 裕樹
利用する者の範囲	中東遠総合医療センター 脳神経外科 鳥飼 武司
情報の管理者	院長宮地正彦
研究の拒否について	患者さま又は患者さまの代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合は除外できない場合がございますので、ご了承ください。
個人情報保護について	本研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を 遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限 の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究 関係者がその職を退いた後も同様とします。
問い合わせ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 脳神経外科 林 裕樹 電話 0537-21-5555 (代表) 平日9:00 ~ 16:00